



喜界高だより

校訓
自主自立
開拓創造
公德奉仕

鹿児島県立喜界高等学校 電話 (0997) 65-0024
〒891-6201 鹿児島県大島郡喜界町赤連 2536 FAX (0997) 65-0217
ホームページアドレス <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kikai>

No.121

「何のために勉強するのか?」: 担任をしていると、この種の問いをたくさん生徒たちから投げかけられます。そんな時、私は決まって「将来、幸せになるためだよ」と答えてきました。これを聞いた多くの生徒は、煙に巻かれたような、納得したようなしなやかな表情をします。中には、「高収入の職を得て、好きな物を何でも買えたりすることが幸せなことですか」と、聞き返した生徒もいました。勿論、それも一理あるでしょう。しかし、私がここで言った「幸せ」とは、もっと普遍的な意味での幸せです。

私は、「幸せ」とは「自分が大切な存在として認められること」であると思います。自分という人間を受け入れてくれて、しかも大切にしてくれる環境に恵まれることが、人間本来の幸せなのだと思います。では、どうしたら周囲に受容され、大切にもらえるのか。それは、「信頼を得ること」だと思います。「この人は信頼できる人だ。だから、この人のことを信じて受け入れよう。」ということの連鎖が、幸せな人間社会を築く基礎になるのだと思います。

ある学者がこんなことを言っています。「信頼を得るためには、次の4つのモラルが備わっていることが不可欠だ。それは、嘘をつかないこと・ルールを守ること・他人に親切にすること・勉強することである。」私は、「なるほど、確かにこの4つだよなあ。」と共感しました。



「幸せ」をもたらす「4つのモラル」

喜界高等学校 教頭 脇田政人

まず、「嘘をつかないこと」、「ルールを守ること」の2つは、当然でしょう。平気で嘘をついたりルールを破ったりする人間が信頼されるはずはありませんから。次に、「他人に親切にすること」ですが、親切さ≠利他心について、先日亡くなられた京セラの創業者である稲盛和夫さんは、「私利私欲を抑えることは、利他の心に近づくこと。自分よりも他者の利益を優先する心は、人間の備えたすべての徳のうちで特に、最善のものである。」と述べています。他人の幸せを願う行動ができるような人は、きっと信頼されるはずですよ。

最後の「勉強すること」: これについては、私なりの解釈を与えてみようと思います。よく勉強している人の言葉には、重みがあり説得力があるのに対し、不勉強の人の言葉は浅薄で独善的で受け入れ難い。ここでいう勉強とは、いわゆるただ覚えるだけの勉強ではなく、体験的に学んだこと、読書によって学んだこと、多くの人とコミュニケーションをとることによって学んだことなど、広い意味での学びです。よく学んでいて立派な人は、当然信頼されるでしょう。

もう一度繰り返しますが、「嘘をつかないこと・ルールを守ること・他人に親切にすること・勉強すること」の4つのモラルを常に意識して行動するようにすれば、私たちの身近な社会集団である家族・学校・地域のみならず、ひいては日本が世界が、思いやりと幸福感に満ちたもつと素晴らしい

三学期の主な行事 (予定)

1月	10日(火)	始業式
	10日(火)	課題考査
	14日(土)	大学入学共通テスト
	15日(日)	卒業考査
2月	26日(木)	卒業考査
	30日(月)	
3月	1日(水)	三年生自宅学習期間
	24日(金)	中高一貫教育校 入学者選抜
	3日(金)	学年末考査
	17日(金)	表彰式
	22日(水)	第七十三回 卒業式
	27日(月)	
	28日(火)	
	7日(火)	二年生修学旅行 (関西)
	10日(金)	修了式・離任式

ものになっていくのではないのでしょうか。これから先、喜界生の皆さんが、「将来、自分と周囲の人が幸せになるためにも、しっかりと勉強しよう」という前向きなスタンスで、机に向かってくれるのを期待すると同時に、「4つのモラル」を追求し続けて、心豊かな人生を歩んでいかれることを心から祈っています。

家庭内ルール(例) 一緒に話し合ってみましょう。

- 夜〇時以降は利用しない。
- 充電は家族がいる場所で行う。
- 名前、顔写真、電話番号、住所などの個人情報を書き込まない。
- 知らない人からのメールやメッセージには返信しない。
- ネットで知り合った人と実際に会わない。
- 人が嫌がることを書き込まない。
- 心配なことがあったら一人で悩まず、すぐに大人に相談する。



生徒指導部より
携帯電話やインターネットの安全な利用について改めて考えよう

携帯電話やスマートフォン、インターネットの安全な利用に関しては、喜界高校ソーシャルメディアガイドラインで示していますが、まだまだインターネットの利用について無防備な生徒もおり、犯罪被害やトラブルの増加、個人情報流布など様々な問題が起こりうる状態です。まずはフィルタリングの設定を必ずして下さい。

オンラインショッピングやフリマアプリでのトラブル事例
男子生徒が、探していた洋服をサイトで見つけ代金を振り込み購入したが、その後、いくら待っても商品は、届かなかった。サイトにある連絡先にメールで問い合わせても返信はなく、電話もつながらなかった。

※SNSに起因する事犯の被害児童のフィルタリング利用状況(令和3年中・警察庁資料)
被害を受けた児童生徒(全国)のうち、87.7%がフィルタリングの利用がない。

実際に起こった事案
裸画像送らせ事案
女子生徒が知り合った男性から、SNSで「きれいな写真を送ってほしい」と頼まれ、自撮りの裸の写真を送ったところ、その画像が、同級生のライングループに送られ、画像が拡散してしまった。

家出未成年者が誘拐された事案
保護者とけんかし、家出をした女子生徒がSNSで知り合った男性宅に泊めてもらったが、当該男性にわいせつな行為を強要された。



生徒会役員紹介

7月7日(木)に生徒会役員選挙が行われ、9月より新執行部が開始しました。新役員の名を紹介します。

生徒会長	富田かえで (商2)
副会長	淵脇成 (普2)
書記局長	基なこみ (普2)
書記	柳聖蘭 (商2)
会計	喜瀬あさひ (普1)
	平慎之介 (普1)

新生徒会長あいさつ
富田かえで
商業科2年

このたび生徒会長を務めさせていただきます。商業科二年の富田かえです。私は前年度から生徒会執行部に所属しており、一年間さまざまな活動をする中で貴重な経験や多くのことを学ばせていただきました。この経験やこれまでの反省点を改善



喜界高生たちの活躍

吹奏楽部7名全員
7月24日 第67回鹿児島県吹奏楽コンクールにおいて、ネパランド組曲の演奏により「おりべ賞」を受賞。おりべ賞とは、審査員の印象に残った個人または団体に贈られる賞である。

普通科1年 喜瀬あさひさん
8月15日 第33回スピーチコンテスト「平和へのメッセージ」にて、明日を創る。で全国で2位相当にあたる優秀賞を受賞。また、喜界高校も学校賞をいただいた。

普通科2年 淵脇成さん
11月26日 第22回全国山羊サミット奄美大会にて、肉用ヤギ

喜界高等学校HP

学校HPのQRコード

喜界高校の日々の出来事や大切なお知らせをHPやブログにて配信しております。本紙に掲載していない情報もありますので、ご活用ください。今後も喜界高校の魅力をお伝えしてまいります。

の寄生虫感染に関する研究」を発表。未来のイノベーション育成を目指した科学人材育成プログラム「琉大カガク院」に1年次から参加。本年度より自身の研究を本格的にスタートさせた。

創立記念講演会

11月2日(水)、喜界町役場企画観光課で地域おこし協力隊サンゴ留学コーディネーターとして活躍中の市川萌笑さんをお招きし、「大学進学しか考えていなかった私が就職を選んだわけ」という演題で語っていただきました。生徒と同年代で既に社会で活躍している方の生き方や仕事への考え方を聞くことで、進路選択についての姿勢や態度を学んでほしいと依頼しました。生徒たちの感想の一部を紹介します。

本日は私たちのために講演をしてください、ありがとうございます。講演した。普段の講演は、年齢の離れた方々のお話を聞くことが多いのですが、今回は私たちとあまり年がかわらない方からの目線でお話を聞くことができ、大変貴重な機会となりました。「島留学」という単語は聞いたことがありますが、体験談をお聞きしたのは初めてで、どうして島留学をしたのか、生活の中でどう思っていたのか、実際の経験を聞くことができてうれしかったです。講演の中で、これから自分がどうありたいか、という言葉がありました。私は将来どのような職業に就きたいかは考えたことがありますが、どうありたいか、どんな人になりたいかは考えたことがありませんでした。これからの大学生生活で自分がどうありたいのか、考えていこうと思いました。また、これからの生活で悩んだり、落ち込んだりしてしまうときには、自分が選んだことは正解だったと胸を張っていけるように頑張ります。(3年女子)

今回の講話を聞いて、私は今以上に自分から積極的に物事に対して

参加している、という気持ちになりました。私はどの物事に対しても楽観視してしまいます。市川さんのように、中学生の頃から自分が気になったことに向かって妥協しない姿勢がとても格好よく見え、自分もこうありたいと思いました。

私は、喜界島のこと、あまり好きではありません。ですが、市川さんの話を聞いているうちに、好きになろうと自分からしていなかったことに気づくことができました。私は高校3年生で、あと少しで島を出ます。それまでにやりたいことを市川さんのようにリストをつくらせて、後悔のない高校生活を送りたいです。また、これから喜界島のこと、もつと好きになれるように、もう一度魅力を見返してみ、将来喜界島に貢献していけるようにしたいと思えます。今回の講演を聞くことができ、大変有意義でした。(3年男子)

職業理解ガイダンス

11月11日(金)に県が企画する「かごしま、職」の魅力発見プロジェクト 高校における県内企業等における出前講座」を活用して、職業理解ガイダンスを実施しました。

今回は、株式会社ファームテック 喜界の岩下雅大氏と、有限会社モリ商店の土岐宏大氏にご講演いただきました。喜界島で生まれ育ち、喜界高校を卒業した先輩であり、夢を実現された両名の言葉は、生徒に大きく響いたよう

でした。今回の講演会で学んだことを高校生活やこれからの人生に活かしたいという声が多かったです。今まで喜界島に帰って来るといふ発想がなかった生徒も、島で働き暮らすという思いを抱いたようでした。以下、生徒の感想を掲載します。

私はこれまで、「働く」ということは大学卒業後に経験することであり、今の自分にはそこまで関係ないことだと考えていました。しかし、今日の講話を聞いてその考えはなくなり、自分が働くことについて考えをきっかけになりました。また、「ピンチはチャンス」という考え方は、これからの人生において、様々な形で立ち代はる壁を乗り越えるために必要なことだと思ったので、大切にしていきます。(2年生 男子)

がじゅまる
《総合的な探究の時間の取り組み》
ふるさと喜界島に学ぶ

本校では、毎週木曜日にがじゅまるの時間がある。これは総合的な探究の時間を本校では「がじゅまる」と呼び、探究型の教育の強化を目指している。1年次に生徒たちは、多くの講演会を通して喜界島について学んでいる。2年次に

には、その後テーマを決め、どのような活動をしていくか7月にテーマ発表を行っている。今年もコロナ拡大の影響があったり2学期は行事も多かったりしたため、テーマ発表会から準備に十分な時間を確保することができなかったが、状況に応じて役場や地域の方などに助言をいただいたり、フィールドワークをしたりしながら、研究を進めていった。平行して職場体験学習にも赴き、地域の方々の交流を深め、実際に作業しながら、高校生とは違う視点から喜界島の現状を学んだ。

3年次には、3年間の集大成としてグループ単位の活動や研究を完成させるために、就職・進学にむけての受験対策と並行して行っている。

そして11月10日に、2年生3年生、全13グループによる校内選考会を迎えた。短い期間ではあったが、

商業科2年生	普通科2年生	3年生	発表内容
★	★	★	農業って楽しいの？ 喜界島の海についてPRしよう!! 喜界島の平均寿命を底上げしよう!! 海ゴミゼロ!!! 鳥の子供たちや高齢者の笑顔を増やそう。 伝統行事を広めよう オオゴマダラを守っていくために 鳥のお菓子を残すために広めよう!! 鳥の農業を引き継ぐために子どもたちが住みやすい環境をつくる。 KIKAI Island 釣りを広めよう in the KIKAI 島外の人にも郷土料理のレシピを伝えよう!! ★

★：中高合同発表会にて舞台発表、その他はポスターにて発表。

72回 体育大会
「捲土重徠」

9月4日(日)に予定されていた喜界高等学校「第72回 体育大会」が新型コロナウイルス感染症拡大により延期になり、9月27日(火)に開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、三年生の親族のみ入場を許可しての開催となりましたが、天気も良く一日開催で、予定していたプログラムを行うことができました。特に3年生にとっては、最初で最後の体育大会となり、思い出に残る体育大会となりました。

応援してくださいましたご来賓、保護者の皆様にも感謝申し上げます。来年度も晴天のもとに、素晴らしい喜界高校体育大会をお見

せできるよう生徒・職員一丸となって取り組んでいきたいと思えますので、応援のほどよろしくお願いいたします。

応援団長コメント
緑軍団長
商業科3年
竹下 慎之佑

先生方や生徒のみんな、体育大会お疲れ様でした。

二年間ともに体育大会ができました、今回も開催が危うい状態でしたが、先生方のおかげで丸一日の体育大会を開催できました。

一年生は、一人ひとり元気があり応援団の演舞も揃っていて、とてもすごかったです。

二年生は、それぞれ運動能力が高く、三年生の自分としては、二

「a whole new world ~喜高生で創る新しい世界~」

37回 樹祭
第37回樹祭が開催されました。今年度は新型コロナウイルス対策を行い、ステージ部門は1年ぶりに体育館での開催となりました。「a whole new world」喜高生で創る新しい世界」のテーマのもと、それぞれがアイデアを出し合い、工夫しながら、つくり上げてくれました。

展示、バザー部門では、生徒たちが協力して準備し、どの作品も驚くほど完璧でした。

10月23日(日)に第37回樹祭が開催されました。今年度は新型コロナウイルス対策を行い、ステージ部門は1年ぶりに体育館での開催となりました。「a whole new world」喜高生で創る新しい世界」のテーマのもと、それぞれがアイデアを出し合い、工夫しながら、つくり上げてくれました。

展示、バザー部門では、生徒たちが協力して準備し、どの作品も驚くほど完璧でした。

度度の高いものでした。ステージ部門においては、出演団体のそれぞれの良さや個性が輝いていて、とても素敵でした。

樹祭を成功に導いた実行委員の皆さん、本当にお疲れ様でした。1人1人が力を合わせ、積極的に行動してくれたことが、今回の樹祭の成功に繋がりました。

また、人数制限等にもご理解いただいたPTAや地域の方々、本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

樹祭実行委員長 コメント
商業科 3年
保科 空大

初めて樹祭の実行委員長になり、わからないことが多い中、周りの先生や実行

委員のみんなの力を借りながら樹祭を成功させることができました。コロナウイルス感染症防止のため大きな声や人数制限などのさまざまな規制があり、たくさんの不安がありました。が無事に個々が活躍の場を持てる、非常に充実した時間になったと思います。

一年生と支援教室の展示では、ただ見るだけでなく、迷路で楽しめるなど1年生らしい展示になっていたと思います。二年生は、とても大きな展示物を作り、中に入ったたり乗ったりすることもできるレベルの高い展示でした。三年生は、名作映画を自分達流にオマージュし、身内ネタなどで樹祭を盛り上げてくれました。

生徒たちと先生が力を合わせて成功させることができ、思い出深い樹祭になったと思います。